

最終配分調整における大阪府の調査項目設定の考え方

○臨床研修の基本理念を十分にふまえ、意識を持って教育している病院を評価

⇒指導体制や研修環境の充実度について調査

調査ポイント：専任のメンター制度の導入、救急当直時のバックアップ体制

○将来の地域医療・在宅医療の実践への基礎となる研修に配慮している病院を評価

⇒プライマリケアの修得や地域医療・在宅医療への興味を誘導するようなプログラムとなっているか調査

調査ポイント：総合診療外来研修の実施状況

○配分した定員分を確実に受け入れられる病院を優先

調査ポイント：マッチ率や希望順位登録者数

調査項目一覧表

□マッチング実績

- ・マッチ者数：過去3年間のうち2回以上フルマッチを優先
- ・希望順位登録者数：多い順にソート

以下の項目を一覧表形式で整理

□指導体制

- ・指導医数
- ・メンター制度
 - 専任のメンター配置の有無
 - メンターの情報（指導医or上級医）
- ・総合診療外来研修
 - 実施の有無
 - 内容・回数
- ・救急外来当直
 - 医師配置・オンコール体制
- ・研修の進捗状況の管理方法
 - EPOCなどインターネットを利用or研修医手帳orその他

□研修環境

- ・第三者評価
 - 卒後臨床研修評価機構の認定の有無（最終更新年）
 - 日本医療機能評価機構の認定の有無（最終更新年）
- ・設備
 - 研修医室の有無
 - 各研修医に専用の机確保の有無
- ・外部での研修活動
 - 学会での（症例）発表件数（筆頭発表者のみ）

□その他

- ・アピールポイント（自由記載）

□医師不足地域

- ・人口10万人対医師数が全国値を下回る二次医療圏
[北河内・中河内・堺市・泉州]